

「私の運動終わらぬ」

運河守る会
決別の峰山 涙浮かべ言い切る



私は運河を 守れなかった

まちづくり
(保存運動)は
市民の創意工夫で
続くのよ。

あなたのまちを
愛してね

まちに誇りをもって
生きなさい

あなたのできる
活動をしなさい

「地域で生きる」ことの大切さを一緒に考えませんか。

十年にも及び小樽を二分した大論争「小樽運河保存運動」の意味。

保存派リーダーの峯山富美が遺した言葉から、今を生きる私たちが次世代へ贈るメッセージ。

峯山富美没後10年企画展

小樽運河保存運動の母が遺したモノ、伝えなかったコト

2021年 8月3日〔火〕→ 22日〔日〕

【時間】 11:00～17:00

【会場】 運河プラザ三番庫(小樽市色内2丁目1-20)



展示内容

- 1 峯山富美と小樽運河保存運動
- 2 小樽運河保存運動って何?
- 3 運河保存運動から生まれたまちづくり
- 4 新しい息吹が聞こえる
- 5 他都市の町並み保存

その他展示

保存運動の活動記録/DVD/新聞
記事/出版物/写真/広報物(ポス
ター、チラシ等)/絵はがき/色紙展
展示物/その他



主催：小樽運河新世紀フォーラム 共催：峯山富美没後10年企画展実行委員会、小樽市

後援：小樽商工会議所、(一社)小樽観光協会、(一社)北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部、小樽都通り商店街振興組合、NPO法人 全国町並み保存連盟
小樽サンモール一番街商店街振興組合、稲穂大通商店会、小樽市教育委員会、(株)北海道新聞社、小樽ジャーナル社、(株)エフエム小樽放送局

連絡先(事務局)：〒047-0031 小樽市色内1丁目9-6 (株)オー・プラン 内

〈TEL〉0134-29-1003 〈FAX〉0134-29-0594 〈URL〉<http://www.o-plan.com/mineyama10/> 〈E-mail〉mineyama10@o-plan.com

※本事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を施した上で、開催します。そのため入場を制限させて頂く場合があります。

峯山富美没後10年企画展

小樽運河保存運動の母が遺したモノ、
伝えたかったコト

【企画展趣旨】

小樽に残る歴史的建造物を保存再生し小樽の新しいまちづくりを創造しよう。そのためには小樽運河をつぶして道路をつくることは絶対に反対。今から約40年前、名もない市民が集まり小樽運河の全面保存の市民運動が進められました。「道路を造ることが小樽市の発展につながる」という行政や経済界に対し、保存運動が最終的に目指した未来の小樽は、歴史的都市空間とそのたたずまいを残し、多くの市民や観光客で賑わう運河を中心とする小樽の姿でした。その運動の中心にいたのが会長の峯山富美です。

年間約800万人が訪れる観光都市として変貌した小樽にとって、運河保存運動が果たした役割はとてつもなく大きい。運河保存運動の歴史を知ることは、現在の小樽を知ることであり、未来のまちづくりの課題を明らかにすることでもあります。

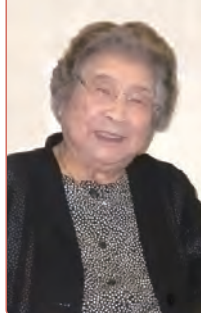
峯山富美が亡くなって10年。当時の峯山富美に近い市民が中心となり、自分たちが峯山から教わったことや、峯山が伝えたかったことをまとめ、企画展を開催します。

【目的】

- ◆ 小樽運河保存運動の中心にいた峯山富美の活動の記録を通じて、運動を正確に後世に伝える場とします。
- ◆ 峯山富美が生涯を通じて伝えてきた「自分のまちを愛しなさい」「まちに誇りをもって生きなさい」「自分のできる活動をしなさい」という言葉が伝える「地域で生きる」ことの大切さ、心の有り様、そして問いかけ、この問いを多くの市民と共有し、小樽の未来のまちづくりを考える場とします。



プロフィール



峯山 富美 みねやま ふみ

大正3(1914)年6月8日虻田郡真狩村に生まれる。庁立小樽高等女学校補修師範科卒。三菱商事入社、昭和9(1934)年 峯山巖と結婚、北手宮小学校勤務。

昭和48(1973)年から小樽運河を守る会に参加、昭和53(1978)年から会長を務め、昭和59(1984)年会長辞任。平成20(2008)年 日本建築学会文化賞受賞。平成22(2010)年12月28日死去。

全国町並み保存連盟主催

峯山富美賞授賞式
同時開催

▼
2021年8月3日
17:40～

オープニング企画

歴史的まちづくり及び市民のまちづくり活動に関連した講演会

「峯山富美さんと小樽運河保存運動」

- 日時:8月3日 18時～
- 場所:運河プラザ三番庫(本企画展会場内)
- 講師:西村 幸夫 氏
- 定員:30名(事前申込みが必要です)

〈プロフィール〉 國學院大学教授、東京大学名誉教授。1952年、福岡市生まれ。東京大学工学部都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より2018年まで東京大学教授。2020年より現職。専門は、都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。おもな著書に『都市から学んだ10のこと』(学芸出版社、2019年)、『県都物語』(有斐閣、2018年)、『西村幸夫 文化・観光論ノート』(鹿島出版会、2018年)、『まちを想う』(同)、『都市保全計画』(東京大学出版会、2004年)、『環境保全と景観創造』(鹿島出版会、1997年)など。



【講演会申込先】 (株)オー・プラン

〈TEL〉0134-29-1003 〈FAX〉0134-29-0594

〈E-mail〉mineyama10@o-plan.com

お名前・TEL・メールアドレス等をご記入のうえ、お申込みください。
申込み状況及び開催内容は随時ホームページにてお知らせします。

オープニング企画の「講演会」と「授賞式」は、
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から
中止となりました。

問合せ先:(株)オー・プラン 〈TEL〉0134-29-1003